

削減計画書

| | | |
|----------------------|---|---|
| 事業所名 | 東洋ガラス株式会社 千葉工場 | |
| 事業所の所在地 | 柏市新十余二1-1 | |
| 事業所の主たる業種及び事業概要 | ガラスびんの製造 | |
| 計画期間 | 令和元年度～令和3年度（3カ年度） | |
| 温室効果ガス排出量 | <p>◎ 基準年度 <u>50,708</u> t-CO2（内訳は別紙1）</p> <p>◎ 目標年度 <u>64,758</u> t-CO2</p> <p>◎ 削減量 <u>-14,050</u> t-CO2</p> <p>◎ 削減率 <u>-27.7</u> %削減</p> <p>現在、ガラス溶解炉の燃料としてC重油と再生油を混合したものを使用しているが、項目が存在しないため、別紙では再生油の分の温室効果ガス排出量が計上されていない。</p> <p>令和2年度にガラス溶解窯の燃料をガスのみにする計画を立てており、数値上は温室効果ガス排出量が増加してしまうが、実際には再生油を燃焼する際に発生する温室効果ガスの分だけ排出量が減少する。</p> | |
| 温室効果ガス削減計画 (別紙も可) | 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2工場金型冷却ファンのインバータ化 ・ 照明の高効率化（LED化） ・ コンプレッサ更新による高効率化。 |
| | 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2号ガラス溶解窯の定期修繕工事 ・ ガラス溶解窯の燃料転換（重油→LNG） ・ 照明の高効率化（LED化） |

| | | |
|--|-------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none">・コンプレッサ更新による高効率化。・検査棟空調の熱源負荷率最適化による、CGS蒸気の有効利用 |
| | 令和3年度 | <ul style="list-style-type: none">・照明の高効率化（LED化）・コンプレッサ更新による高効率化。 |